

お茶とハーブの店 茶蔵

福井県敦賀市

<https://shop-chakura.com>



店舗概要

創業年 2013年(平成25年)
売場面積 48.0㎡(14.5坪)
従業員 2.0人
営業時間 10:00~18:00
定休日 不定休

商品構成

・茶葉類	54.0%
・ギフト	11.3%
・茶器類	4.4%
・その他の飲食料品	5.3%
・喫茶	25.0%

経営方針

- ・美味しいものは笑顔を作る。
- ・お客様の満足が店の満足。
- ・トレンドには敏感に。でも、流行は追わない。追うくらいなら、自分たちで流行を作る。

ひよんなことから生まれたハーブティー専門店

[父・母の日本茶専門店を受け継ぐ]

福井県敦賀市に昭和51(1976)に創業した日本茶専門店。いまや急須でお茶を淹れたり、お茶の間などが家庭から消えるなかで、町のお茶屋さんも少なからず影響を受ける。そんなお茶屋の娘が、ハーブティーに魅せられて、新たに始めたのが「茶蔵」だ。紅茶好きだったという夫がサラリーマンをやめてお店をともに手伝う。そんな夫婦2人のお店は、2013年に開店した。

現在は、JAMHA 認定メディカルハーブコーディネーターと日本園芸協会認定のハーブコーディネーターの資格を持つ代表がブレンドしたハーブティーのほか、紅茶、中国茶に加えお茶屋本来の日本茶などその数は100種と幅広く扱う。また、スコーンなどのお菓子などやケーキバイキングなどの飲食メニューがある。

【喫するひとを思うオリジナルブレンド】

同店の特徴は、たんに茶を販売するだけでなく、お茶を身近な暮らしの一部として広めるための活動にある。そのひとつが、定期的に行っているハーブティー講座や紅茶講座だ。こうした活動などを通して、その方独自のオリジナルのハーブティーをブレンドしている。その数は650以上、レシピはデータベース化され、記録しているので、客から注文を受ければ、同じものがブレンド出来るようになっている。

また、ハーブティーはすべてオリジナルブレンドで、そのネーミングが覚えやすく、親しみを持てるのもひとつの特徴だ。たとえば、更年期を迎えた女性のためのハーブティーは「女の人生これからティー」、花粉症対策のハーブティーが「森からの使者に負けないティー」など、喫するひとのことを思ってつけた商品名となっている。

同店の2階のロフトはキッズルームになっており、赤ちゃんや幼児連れのお母さんに利用。出産前や出産直後の母親のための相談に乗りながら、ハーブティーをブレンドして出している。

【流行に流されない、流行を生み出す】

日本茶と言えば、ペットボトル飲料のイメージが定着した時代で、お茶を日本茶だけにこだわらず、広く健康のために楽しみながら喫するための飲み物とするために、常に心がけているのが、時代の流れを研究樹しながら、それに流されることなく、流行の本質を見極め、自分たちの方向性を探るといことだ。データは、取引金融機関や商工会議所から提供されるものや、取引業者、同業者、異業者など幅広くアンテナを張る。そこから少しずつ自分たちの商品へと結び付けている。経営計画は1年ごとに立て、売上や利益、集客のための販売戦略など見直しを図っている。

地域との連携にも積極的で、商工会議所の経営、販促、商品開発などのセミナーに参加する一方で、同店のギフト商品を市内のギフトショップに置いてもらうなど地域全体を巻き込んだブランド化を行っている。このほか、地元特産のフルーツを使ったフルーツティーの開発なども行っている。



上：1階は売り場と喫茶、2階ロフトはキッズルーム。
味とくつろぎを味わえる空間。

右上：お菓子とセットで提供される喫茶メニュー

右下：分かりやすいネーミングのオリジナルハーブティ

